

東品川海上公園で「みどりと花のフェスティバル」

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月28日

4月16日(土)、17日(日) 東品川海上公園で「みどりと花のフェスティバル」が開催され、春の暖かい日差しの下、さまざまなイベントに多くの人々が参加していました。この時期はチューリップが見ごろですので「チューリップツアー」に参加しました。

(17日)

チューリップを水に浮かべて栽培する水上花壇です。



このような水上花壇は富山県砺波市の「となみチューリップフェア」での自慢の花壇で、通常は池（淡水）で行いますが、こちらは海水が入っているために栽培は難しいとのことでした。

もともとチューリップはヒヤシンスやクロッカスと同じように水耕栽培ができますが、球が大きく品質が良いものでないといけけないので、富山から選んで送っていただいたそうです。

ミフィーちゃんの花壇です。ディック・ブルーナ・ジャパンの協力でデザインし、オランダのディック・ブルーナ公認の「ミフィー花壇」です。



忘れな草の中に咲くチューリップ（下左）、きれいですね。チューリップというとこのように洋風のイメージがありますが、こちら（下中、下右）は富山のチューリップで和風ですね。



ツアー終了後、公園で育てたハーブを使ったハーブティーを試飲させていただきました。

ほかにもミフィー押し花講座やチューリップ折り紙講座、園芸講座、みどりの相談コーナー、苗の販売などがあり、参加したみなさんは楽しいひと時を過ごしたと思います。



カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月28日

しながわ区民公園で‘みどりと花のフェスティバル’開催

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月23日

5月8日（日）しながわ区民公園で開催されていた‘みどりと花のフェスティバル’（7, 8日開催）に出かけました。当日は前日の寒さを感じるほどの雨空とは打って変わって気温が高く、五月晴れの強い日差しの下で多くの方がそれぞれの春を満喫していました。下の写真はメタセコイヤの木とその実から作ったかわいい虫たちです。



このマツボックリのように見えるものがメタセコイヤの実です。これにカラーの針金と目をつけると、こんなにかわいい虫が出来上がりました。

希望者に配布されていまして、このコーナーを訪れた人たちは「ア〜〜かわいい！」と言って、いただいでいきました。

これらは区民公園の職員の方が手作りしたもので、一つひとつに表情があり、家族構成を考えて作ったとのことでした。酔っ払ったお父さん、美人のお母さん・・・いろんな虫ができました。

この‘みどりと花のフェスティバル’には様々なコーナーがありましたので、ご紹介します。

●苗の無料配布

前日7日と今日、各100名に苗の無料配布がありました。

●東京大学民族音楽愛好会の皆さんによる演奏では「コンドルは飛んでゆく」や「花祭り」など、なじみのある曲が演奏されました。



●フラワーアレンジ教室には25名（7, 8日計50名）が参加し、熱心に切り花の寄せ植えに取り組んでいました。

●工作コーナーでは、世界で一つだけの素敵なオリジナル小物を作りました。輪切りの木の板に直接絵を描いたり、木やドングリを接着剤でくっつけたりしました。

なお、材料は区民公園の剪定枝です。



家族連れやグループなど、多くの方が楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年05月23日

しながわ花海道でコスモスの種まきがありました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月29日

平成23年7月17日（日）、しながわ花海道プロジェクト「2011年コスモスの種まき」が開催されました。



この日の東京は朝から強い日差しが照りつけ、東京の最高気温は34℃、肌がジリジリ焼けつくような感じでした。種まきは10時開始となっていました。この暑さで参加した皆さんの中には「8時頃から来ました」という方もいました。流石にこの時刻（11時頃）、このグループの区画では種まきが終わりかけていました。



立正大学の地域連携支援室はこのプロジェクトに参加して2年、今日も十数人がそれぞれの役割を決めて参加・協力していました。写真は区画整地の手伝いをする皆さんです。



カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月29日

「打ち水大作戦・しながわ2011」開催

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月02日

7月23日（土）、戸越公園駅前南口商店街で「打ち水大作戦・しながわ2011」が開催されました。早くから集まった子どもたちは、今や遅しと打ち水開始の「かけ声」を待ち、午後3時、カウントダウンの後「しながわを涼しくしよう！」のかけ声とともに一斉に打ち水が始まりました。



打ち水前の気温は28.4℃、地表面の温度は32.8℃でしたが、20分後にはそれぞれ27.5℃と29.2℃になりました。気温は約1度の低下でしたが、地表面は3℃以上下がり、多少涼しくなったように感じました。

この週は比較的涼しい日が続き、その前の週まで続いていた真夏日がウソのように当日の東京の最高気温は27.5℃（気象庁発表）でした。しかし夏本番のこれから、打ち水の効果が実感できると思います。

なお打ち水に使う水は、お風呂の残り湯や溜めておいた雨水などの再利用水を使うという約束事があります。



カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月02日

「打ち水大作戦」開催

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月04日

2011年7月23日（土）24日（日）西大井広場公園において、二葉中央商店会主催第31回品川納涼祭が開催されました。23日土曜日には各クラブの太鼓やダンス発表の前、15時20分より打ち水大作戦が行われ、「品川を涼しくしよう」の合図で幼児から中学生までの子供たちがいっせいに打ち水をしました。



品川納涼祭は31回を数える歴史あるお祭りですが、打ち水を始めたのは今年で2回目。利用する水はおもに雨水を使っています。



大変暑かった昨年に比べ今年はやや涼しかったのですが、打ち水をしたことによって、グラウンドの砂が落ち着き、埃っぽかったグラウンドがみるみる涼しげになっていきました。

打ち水が終わった後、主催者の「みんな、これからも雨水やお風呂の残り湯を使って水をまきましょう。約束してくれますか！」の言葉に、手を挙げて賛成していました。



カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月04日

「夏休み自由研究いきもの観察会」開催

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月12日

平成23年8月6日（土）、しながわ区民公園で「夏休み自由研究いきもの観察会」が開催されました。公園にいる「いきもの」といえば昆虫や鳥を思い浮かべますが、植物も「いきもの」です。公園内を散策しながら、見つけた「いきもの」の写真を撮り、撮った位置が後でわかるように配られた地図にしるしをつけました。



夏真っ盛りの今日の主人公はセミでした。セミは一説には7年ともいわれる長い間土の中で生活し、幼虫は小さな穴から地上にはい上がり、幹を登って脱皮し、私たちが見るセミになります。セミの抜け殻をたくさん集め、その触角を虫眼鏡でよく見てどの種類のセミの抜け殻かを教わりました。抜け殻はいっぱい目にしましたが、セミを撮るのにみなさんかなり苦労していました。（赤い○の中にセミがいます。見つけにくいですね）

地上では僅か数日でその一生を終えるセミ、かわいそうな気がしますか？



たまたま朝日新聞（平成23年8月7日「天声人語」）には「近くの公園を歩くと蟬の穴がぼこぼこ空いている。幾年も地下にもぐって忍の一字、やっと這い出た短い命の…」とありました。セミは一生の大半を土の中で過ごします。そこが一番安全な場所でもあるのですが。

今日鳴いていたセミはクマゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミでしたが、クマゼミはもともと関東にはいなかったセミです。「天声人語」（上記同）にはクマゼミが北へ勢力を広げているのは温暖化の影響か、それとも他の要因かといったことも書かれていました。

温暖化の影響はいろいろなところに出ていることが考えられますね。

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月12日

打ち水大作戦（平和坂通り商店街）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月12日

平成23年8月6日（土）、平和坂通り商店街で「打ち水大作戦」が開催されました。

14人の子どもと保護者や商店街の皆さんが思い思いに打ち水をしました。



打ち水が終わったとき、「少し涼しくなったような感じがするね」といった声があちこちから聞こえてきましたが、筆者自身もそう感じました。

濱野区長も参加されており、賑やかな打ち水会でした。

最後に記念撮影をしましたが、みなさんの明るい笑顔が印象的でした。



カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月12日

旗の台児童センター「ゴーヤ収穫祭」

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月19日

2011年8月10日（水）、旗の台児童センターにて「ゴーヤ収穫祭」が行われました。



節電のためにもゴーヤで緑のカーテンを作ろう！と始めたゴーヤ栽培、6月9日に100株のゴーヤを植え、毎日の水やりや肥料（日本ハム♦から提供のゴミから作った肥料）をこまめにあげ、立派なゴーヤが育ちました。



収穫祭では小学生や幼児、近隣の保育園児などたくさんの子どもが参加し、たくさんのゴーヤとたくさんの子どもたちの笑顔でいっぱいになりました。



収穫の後は皆でゴーヤチャンプルを作りお昼に食べました。ゴーヤチャンプルの他にもスタッフの方々が作ったゴーヤのかき揚げ丼とゴーヤの味噌汁、自家製ミソのゴーヤの味噌漬けなどもいただき、ゴーヤ尽くしのお昼ご飯となりました。初めてゴーヤを食べる子もいて、「にがーい！！」と感想もでしたが、とても良い味が出ていて「美味しい♪」とおかわりを求める子もたくさんいました。ゴーヤの美味しさを知ることができたようです。



旗の台児童センターではまだまだゴーヤの花が咲いています。気になった方はぜひ涼しげな緑のカーテンを見に旗の台児童センターに足を運んでみてはいかがでしょうか？

カテゴリ：平成23年度

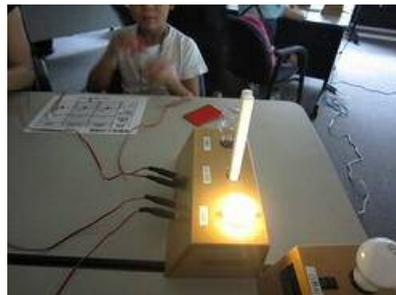
投稿日：2011年08月19日

夏休み親子消費生活教室「エコってどんなこと？」講座開催

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月23日

8月4日木曜日、品川区消費者センターにおいて、夏休み親子消費生活教室「エコってどんなこと？」講座が開催されました。毎年夏に開催されている講座で、パナソニック電工の担当者を講師に午前は講義、午後は工作でアトソ型のランプを作りました。参加者は親子7組14名、参加費用は500円でした。



午前の講義では、家庭で使うあかりの「白熱灯、蛍光灯、LED電球」の光る仕組みを勉強し、手回し発電機を使って「白熱灯、蛍光灯、LED電球」それぞれの省エネ度を体験しました。1日5.5時間の使用で、白熱球は1個1000時間、LED電球は1個40000時間使えます。LED電球の省エネ度がわかりますね。



午後の工作では、小さなLED電球を2個入れたアトソ型のランプを作りました。土台に好きな色のLED電球を入れ、シェードに和紙を好きな模様にくりぬいて貼り、それぞれオリジナルのライトになりました。LED電球は白、オレンジ、赤、青、緑と5色あり、組み合わせでいろいろなあかりの作品が完成、みなさん素晴らしい出来栄でした。

「白熱灯、蛍光灯、LED電球」の熱さ、明るさを体感して、省エネの勉強をした楽しい講座でした。

毎年開かれているそうですから、参加してみたいかがでしょうか。

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月23日

しながわ花海道のコスモスが咲き始めました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年09月26日

7月末のECOトピックスでお伝えしましたように、7月17日にしながわ花海道で恒例のコスモスの種まきが行われました。そのときの種は茎を伸ばし、9月に入って開花が始まっています。



9月半ばの昼下がり、しながわ花海道に行ってきました。真夏のように日差しが強く、今年の残暑は本当に厳しいです。夏の名残の中、コスモスは愛らしいピンクの花を咲かせ秋の訪れを感じさせてくれます。10月には見頃を迎え、区民の目を楽しませてくれることでしょう。



この時期、勝島運河沿いでは自生のキバナコスモスやひまわりも見ることができます。



キバナコスモス



ひまわり

しながわ花海道に出かけてみませんか。

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年09月26日

‘みどりと花のフェスティバル’開催（しながわ区民公園）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月20日

10月8日(土)～9日(日)、しながわ区民公園で「みどりと花のフェスティバル」が開催され、多くの親子連れなどがさわやかな秋晴れの下での1日を楽しみました。

しながわ区民公園にはとち、しい、くぬぎなど多くの種類のどんぐりがあり、どんぐりと切り株は自由に持ち帰ることができました。



また会場ではそれらを使った工作に人気がありました。



人工芝でサッカーゲームを楽しむ子どもたちです。

この人工芝は東京ドームなどで使われたものの余り材を有効利用したのですが、子どもたちはかわるがわるゲームを楽しんでいました。芝の根元には湿った砂が施されており、手で触れてみましたが非常に柔らかく、天然芝に近い感じがしました。



区民公園内では「まちづくり事業展2011 inしながわ区民公園」が同時開催されており、天然ガス自動車の展示がありました（写真右上）。

天然ガス自動車は、二酸化炭素や酸性雨・光化学スモッグの原因となる物質の排出量がガソリン車やディーゼル車より少なく、現在はバスやトラックなどさまざまな場所で活躍しているそうです。

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月20日

‘みどりと花のフェスティバル’開催（戸越公園）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月27日

2011年10月15日（土）16日（日）、戸越公園で「みどりと花のフェスティバル」が開催されました。正面の門を入ってすぐの広場に抽選会場やお茶の販売、植木の販売、食べ物の屋台などがたくさん並び、椅子とテーブルもあって、休憩や簡単な食事が出来るようになっていました。

園内にある池の周りでは戸越公園で育てた植木や草花をもらえるコーナーがあり、オリヅルラン、ヤツデ、ツバキ、ヤブラン、アジサイ、アロエ、キランソウ、アイビー、スイセンなど（30種以上）を来場者が自由に持ち帰っていました。公園の担当者に伺ったところ、春秋の2回実施しているとのこと。となりでは多肉植物の寄せ植え教室（参加費500円）や土（100円）、肥料（200円）の販売もありました。



土は通常大袋で売っているものより小さく、肥料は業務用を特別に3種類配合してあるので、便利に使えます。私もアイビー2本とキランソウ（シソ科の多年草）1本を頂き、さっそく家で作ってみました。



他には盆栽の展示のコーナー、山野草の展示のコーナーなどがあり、たくさんの方が見入っていました。また山野草のコーナーでは、当センターでも講師をお願いしている「山草会」の皆さんが力作を持ち寄って展示していました。



この日は、前日の雨とは違って、秋とは思えないほど暑い日で、公園の木々や草花が輝いていました。自然に親しみながら、環境を考えるよい機会となりました。

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年10月27日

みどりと花のフェスティバル開催（東品川海上公園）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月31日

10月22日(土)～23日(日)、東品川海上公園で「みどりと花のフェスティバル」が開催され、来場者がいろいろなコーナーやイベントに参加しました。

●ミッフィーの押し花作り

ブルーナ絵本のミッフィー、水鳥、さかなを描いた台紙に公園の花で作った押し花を貼りました。

●ステンシルでオリジナルカード作り

今日使ったステンシルはプラスチックの薄い板で、簡単なイラストの形がくりぬかれています。白いカードにステンシルを当て、くりぬかれている部分に絵具を塗ると、ほら楽しい絵が描けました。これは飛行機の絵ですね。



●ポプリ作り

ハーブを使ったポプリや家庭の香辛料と合わせたポプリなど、手軽にできるオシャレなポプリを作りました。

●植物クラフト作り

公園のどんぐりと剪定枝、葉っぱなどを使ったクラフト作りやスキを使ったフクロウ作りを体験しました。



●富山からのアイスチューリップ

球根を冷蔵保存することで開花時期をずらし、一年中いつでもチューリップを咲かせることができます。公園内ではこれからの紅葉と一緒に楽しめそうです。



これらの他にも寄せ植えやガーデニングの紹介、苗・球根の販売、絵本や紙芝居などのコーナーがあり、参加者は東品川海上公園でのひとときを楽しんでいました。

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月31日

『地球を守ろう！』お話とコンサート

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月14日

10月22日(土)、荏原第五中学校で「『地球を守ろう！』お話とコンサート」(第7回)が開催されました。会場には地域の皆さん、荏原第五中学校の生徒さんたちが集まり、楽しく華やかに開催されました。主催は「ト音記号の会」で、子育て支援の一つとして親子で音楽に触れ、音楽の楽しさ素晴らしさを感じてほしいという願いから、平成17年に第1回のコンサートを開催しました。2回目からは、コンサートと共に環境問題にかかわる講演を企画し、年1回のペースで続けてきました。今回は、第1部<「しの笛と品川拍子」と「環境講演」(下記)>に続き、第2部<合唱(ト音記号の会)、フルート演奏、独唱、吹奏楽、みんなで歌おう>が行われました。

以下は「環境講演」の取材レポートで、お話は東京サラヤ◆営業本部環境担当の方です。



●緑の回廊プロジェクト

「ボルネオ緑の回廊」は、東南アジアに位置する自然豊かなボルネオ島で野生動物が自由に移動でき、生命をつなぐことができるようにしようとする計画です。この島では今、森の動物たちと人間との間の摩擦が大きくなり、環境問題へと発展しています。

ボルネオ島は東南アジア最大の熱帯雨林を持ち、アジアのCO₂の貴重な吸収源となっており、なかでも低地の熱帯雨林は地球上で最も生物多様性が高いとされている土地です。しかし、今この熱帯雨林がアブラヤシ農園の乱開発などにより急激に減少しており、多くの哺乳動物、爬虫類、鳥類が姿を消しつつあるといえます。



ボルネオ象やオランウータンなど様々な動物たちの生息地である熱帯林が農園に変わることによって動物たちの生活経路が寸断され、しかたなく農園に入った動物たちと人との接触が増え、人の影響で野生生物が減少することが懸念されています。世界最小の象・ボルネオ象ノ開発により親を亡くしたこどものオランウータン(不安から抱き合っている)



私たちが知らないうちに消費しているパームオイルについて、生産国で起こっていることを通して自然界にどのように影響しているのかをみてみましょう。パームオイルとはアブラヤシの実から採れる油のことで、良質で安く、大量生産可能な植物油です。今日では食用としてマーガリン、スナック、インスタント麺などに、また洗剤や石けん、化粧品ほか様々な原料として利用されています。現在では熱帯雨林がつぶされて川岸までアブラヤシ農園が迫ってきていますが、いわば私たちはボルネオの森を食べているようなものです。人間の生活の上で切っても切れない関係であるパームオイルですが、そのパームオイルをつくる為に森林を奪われ、生活の場を奪われている動物たちがいるのです。

「緑の回廊」の目的の一つは、アブラヤシ農園で分断された保護区と保護区をつなぐことにより、野生動物たちの生活路を確保し、生息域を拡大させることです。同社は洗剤などの製品作りのためにパームオイルを利用していますが、持続可能な自然や資源の利用を考えなければなりません。同社のヤシノミ洗剤の売り上げの1%が、生物多様性保全のため野生動物が生命をつなぐ「ボルネオ緑の回廊」作りに使われています。

●水の大切なお話

水は様々な生活シーンで利用されており、私たちが生きていく上で絶対になくってはならないものです。

生活に必要としている水の量は飲料用に比べるとはるかに多く、炊事、入浴、掃除、洗濯、トイレを流す、ペット、家畜や菜園などに水が使われています。世界には日本のように自由に水が使えない貧困な地域が多くあり、これらの地域では安全で健康な生活維持には不十分な量の水しかありません。

安全な飲用水の供給によって下痢は6%減少しますが、改善された公衆衛生、とくに石けんを使って手を洗うことにより下痢の発生を45%も減少させることが出来ます。

日本を含め先進国は数十年の間に飲料水、下水、治水で試行錯誤を繰り返し、様々な問題を克服してきましたが、今度は途上国の水問題を解決する手助けをする番が回ってきています。

世界には水が思うように使えない人々が10億人いるといわれています。開発途上国に目を向けると年間880万人もの5歳未満の子供たちが命を失い、その原因の多くは予防可能な病気です。石けんを使って正しく手を洗うことで下痢性疾患や肺炎を予防すれば、100万人の子供たちの生命が守れるといわれています。



同社は2010年から「100万人の手洗いプロジェクト」を推進し、対象商品の売上の1%をアフリカ・ウガンダでのユニセフの手洗い普及活動を支援していま

す。
こういった世界の現状を知り、もっともっと水を大切に使いましょう。私たちは普段なにげなく使っている水ですが、世界では水は非常に貴重なものになっています。

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年11月14日

‘みどりと花のフェスティバル’開催（西大井広場公園）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月14日

2011年10月29日（土）30日（日）、西大井広場公園で「みどりと花のフェスティバル」が開催されました。盆踊りや打ち水大会が行われる広いグラウンドには、工作、寄せ植え、ミニ動物園、植木の販売、休憩所などのコーナーがありました。工作コーナーでは折れた枝を大・中・小、いろいろな大きさに輪切りにしたもの、どんぐりが置いてあり、色を付ける、ボンドで貼る、などして思い思いの作品を作り上げていました。自転車の飾りやひもを付けたペンダント、表札、ハロウィーンの飾りなど。材料はしながわ区民公園、西大井広場公園の台風で折れたり、倒れたりした枝木を使っています。輪投げコーナーやヨーヨーつりも無料とあって、たくさんのおもちゃが楽しんでいます。輪投げの台も折れた木を使った手作り、ヨーヨーつりの道具も公園担当者の手作りだそうです。



寄せ植えコーナーでは、当センターの講座でもお世話になっている秋草会のみなさんが作品展示、寄せ植え教室（参加費500円）も行われ、中学生の参加者もいて大盛況でした。山野草の植木を1鉢100円と格安で販売し、育て方の質問にも答えていました。



ミニ動物園のコーナーでは、ウサギやモルモットなどとふれあえる「ふれあい動物園」、ポニーに乗れる「ポニー乗馬」、柵に入った「ヒツジやヤギ」、檻に入った「タヌキやハクビシン」など。動物にさわったり、抱っこしたり、ふれあいながら命の大切さを学ぶ良い機会だと思いました。



両日とも、11時と14時にマリーゴールドやスプレーマムなど5種の植木の無料配布（各回100名）も行われ、大勢の来場者が並んでいました。

春と秋、品川区内の4か所の公園で行われるこのフェスティバルは緑と花に親しみながら、いろいろなイベントを体験できて、かつ環境も考えられる楽しいものです。みなさん、次回の春にはぜひ参加してみませんか。

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月14日

紅葉の季節になりました（しながわ中央公園）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月18日

しながわ中央公園の紅葉が進んでいます。（平成23年11月17日）
この時期同公園では、晴れた日には親子連れが暖かい日差しを浴びて楽しんでいる様子が見られます。今月下旬には桜の葉のきれいな紅葉が見られると思いますので、ぜひお出かけください。



↓平成22年11月24日撮影



カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月18日

エコカップ小学生親子バレーボール大会開催

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月01日

平成23年11月13日（日）品川区立中小企業センター体育館と品川区立第二延山小学校体育館において、小学生親子バレーボール大会が開催されました。

エコカップサッカー＆バレーボールフェスティバルの一環として、2007年より開催されていて今年で5年目。この大会だけの特別ルールがあり、小学生チーム、大人チーム、両方の力が試される、親子で楽しめる大会として定着しています。主催は品川区商店街振興組合連合会、共催はJT（日本たばこ産業株式会社）、特別協賛はパノラマランド木島平です。1位から4位までのチームがプロのビーチバレー選手のコーチを受けることができるとあって、会場は熱戦が繰り広げられていました。子どもたちはもとより、保護者のがんばりにびっくり。

午前9時から2会場、ABCのブロックに分かれて予選が行われ、午後、勝ち上がった4チームで決勝戦が行われました。大接戦の末、決勝を勝ち抜いたのは、第二延山小学校のチーム、「二延マリンズ」でした。



練習風景（第二延山小学校体育館）

試合風景（同）



試合風景（中小企業センター体育館）

試合終了後（同）

優勝カップと賞品授与のあと、エコカップフェスティバルのもう一つの賞である「環境活動大賞」の発表がありました。こちらは今年で2回目、昨年度は環境全般をテーマにしたものでしたが、今年は東日本大震災後の節電を踏まえ、身近にできる節電をテーマに募集、1人1人が電気の使い方について身近にできる節電アイデアを考えました。最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作4名の計7名が受賞されました。最優秀賞の戸越アタッカーズ大関さんの作品は「ストーリー性がある、分かりやすい、節電に特化している」ことが評価されました。

品川区商店街連合会の浦山会長より賞状と賞品が授与され、こちらも大きな拍手を浴びていました。さらに浦山会長は、東日本大震災のあと節電に取り組んでいること、環境を守るためマイバック運動、マイ箸運動を進めていることなどのお話があり、皆さんも協力をお願いしたいと締めくくられました。参加チームに参加賞の柿が贈られ、秋の一日が終わりました。

（エコカップサッカーは、9月に終了したとのこと）



優勝チーム「二延マリンス」



浦山会長より表彰を受ける「二延マリンス」

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月01日

みんなで咲かせよう！冬の桜「目黒川イルミネーション2011」が始まりました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月14日

今年も「目黒川みんなのイルミネーション」が始まりました。会場は品川区立五反田ふれあい水辺広場と目黒川の沿道です。今年は昨年より2週間早く11月18日に点灯されました。11月20日昼ごろ散歩に訪れてみましたが、まだ桜並木の紅葉が美しく、陽に輝いていました。「冬の桜」はこの桜並木を冬に再現したものです。通常LEDの明かりは青や白が多く見られますが、こちらはピンクのLEDが華やかで、「冬の桜」の名称どおりです。



(2011年11月20日、12時頃撮影)

今年のテーマは「エネルギーの地産地消」。電力不足により節電が求められるなかで、100%自家発電によるLEDイルミネーションの点灯により実施されています。

周辺の家庭や飲食店から使い終わった食用油を回収して、バイオディーゼル燃料にリサイクルして、点灯することになっています。アートヴィレッジ大崎セントラルタワーや品川区清掃事務所をはじめ、近隣の全10か所から約2000リットルの廃食油の回収にご協力いただきました。バイオディーゼル燃料とは植物由来の油（菜種油、ひまわり油など）や各種食用油（てんぷら油など）から作られる軽油代替燃料（ディーゼルエンジン用燃料）の総称です。バイオディーゼル燃料は従来の軽油に混ぜてディーゼルエンジン用燃料として使用できるため、CO2削減の手段として注目されています。



(2011年11月30日 18時頃撮影)

冬の桜の点灯期間は11月18日（金）～12月25日（日）、また点灯時間は午後5時～午後10時で、JR大崎駅より徒歩6分です。「冬の桜」は環境を見つめ、これからのエネルギーを考えるエコイルミネーション、残りの期間は短いですが、訪れてみてはいかがでしょうか？

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月14日

品川区内のイチョウ（お寺と神社）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月14日

区内のイチョウがきれいな黄色に色付いていました。
12月10日(土)、11日(日)、快晴の天気につられて歩いてきましたが、既に散っているイチョウもあれば、まだこれからという木もありました。

品川区指定文化財のイチョウは3寺と3神社で指定されていますが、品川寺、榑籥稲荷神社はほぼ盛り、法禅寺ではあと数日、光福寺はこれからといったところ。

今年の紅葉は平年に比べて遅いとの報道をよく耳にしましたが、イチョウの色付きも遅いようで、先日の朝日新聞（2011年12月9日夕刊）に「カエデとイチョウの紅葉（黄葉）が今年は、記録的に遅れた。この秋が全国的に高温だったため、長期的に見ると、地球温暖化や都市化などの影響もうかがえる。」とありました。地球温暖化は着実に進行しているのですね。



（左から 品川寺、榑籥稲荷神社、法禅寺、寄木神社）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月14日

エコプロダクツ2011に行ってきました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月22日

平成23年12月15日（木）から17日（土）まで、東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2011」に行ってきました。エコプロダクツを見学するのは今年で4回目ですが、年々参加者が増えている印象で、出展している方に伺ったところ初日は特に来場者が多いとのことでした。

「あらゆる業種が参加している」エコプロダクツですが、今年は震災関連のブースが多くみられました。復興に邁進する東北ブースには福島県、宮城県、岩手県、経済産業省東北経済産業局ほか各県の企業が多く出展していて、見学者であふれていました。他のブースで非常時に便利な携帯充電用のソーラーチャージャーを見つけ購入できたのも、震災関連と言えるかもしれません。内部は小売・食品・食器、衣料・日用品、素材、事務機・文具・印刷、家電・照明、建設・住宅、エネルギー、自動車・運輸などの業種ごとに分かれ、他に生物多様性ゾーンやエコごはん＆スイーツのコーナー、環境関連書籍の販売や省エネにつながるグッズなどを販売するグリーンストアーズがありました。

ジュニアグリーンスクールのコーナーで「放射能・農薬汚染から子どもを守る～生命・生態系を守る安全な食」というセミナーを受講しました。科学ジャーナリスト植田氏の講演では、福島原発事故に関する被ばくと放射能について、子どもは大人より敏感であると話されていました。講座の講師をお願いしている全国牛乳容器環境議会のブースでは、会の皆様が牛乳パックでハガキを作る講座を開催し、牛乳パックの手開きの方法も講義していて、たくさんの参加者であふれていました。

他にもエコツアーとして「会場内エコツアー」「子どもエコツアー」「自然観察会」「リサイクル工場見学会」、他に「エコカー乗車体験」「エコ通勤・通学自転車」の試乗体験などもあって、年齢に関係なく楽しめるプログラムがありました。もちろん企業や団体のブースは大変充実していますので、身近な商品はもちろん、普段はあまり使わない商品も理解を深めることができるのではないのでしょうか。（入場無料、申し込みは当日も可能。ウェブで事前登録もできました）



カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月22日

野生動物と森を守ろう

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年02月17日

平成24年2月9日（木）、第四日野小学校の社会科（5年）の授業を参観しました。
引き続いて6年生の授業もありました。

日本から南南西に3,000km離れたところにあるボルネオ島は熱帯性気候で、年間平均気温が26～27℃という暑い島です。

(注)島の呼び方：マレーシアでは「ボルネオ島」、インドネシアでは「カリマンタン島」と呼ぶ。

この島では森林が伐採されてアブラヤシが育てられ、その果実から私たちが日常利用している多くの食品、洗剤、化粧品などの原料になるパーム油が作られています。

しかし森林などの自然が破壊されることにより、野生動物のすみどころが少なくなっています。人間によって壊された動物のすみかを確認し、生活する場所としての森林や水辺を再生しようという活動が進められています。

講師：東京サラヤ◆環境担当



授業中



アブラヤ

シの果実



5年生の皆さん

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年02月17日